

テーマ

外部支援による事業の活性化

## 統一ブランドによる土産菓子の共同開発と販売促進活動

### 山梨県菓子工業組合

戦国武将武田信玄にちなんだ「武田兵糧丸」のブランドで、組合員がそれぞれ創意工夫し24種類の創作菓子を開発した。将来的には、本県を代表する土産菓子に育てたい。

#### 背景と目的

当組合は、山梨県を代表するお祭り「信玄公祭り」が40周年記念を迎えるにあたり、新たな土産菓子を統一ブランドとして売り出そうと考えた。武田信玄を初め、戦国の武将が戦場に携帯した保存食である兵糧丸にちなんで「武田兵糧丸（ただひょうろうがん）」とした。本県を代表する土産菓子を指すという商品コンセプトに基づき、米粉やきび粉などの使用とともに県産農産物を材料として用いることにした。また、武田軍の二十四将にちなみ、24種類の兵糧丸を組合員に、それぞれ創作してもらおう

ことにした。商品開発に当たり、組合員が協働するとともに切磋琢磨することを狙いとした。

#### 事業・活動の内容

商品開発から販売活動に至るまでの事業計画について、山梨県中小企業団体中央会に相談し、同会観光課特産品市場開発チームによるコーディネート支援を受けることとなった。

事業計画において、4月に行われる「信玄公祭り」に発売を合わせることで目的であったため、逆算して事業計画のスケジュールを組んだ。組合員による試作の商品ができたところで、試作審査会を開催しマスコミへのプレスリリース、消費者アンケートによるマーケティングを行い、改良を重ね、正式販売となった。販促面においても、コンセプトづくり、商品ロゴ・パッケージ、ポスターやのぼり旗

等の販売促進ツールの企画やデザイン、販売協力の支援も受けた。

#### 活動の成果

当組合にとって、組合員が協働して商品の開発から販売まで行うという、これまでにない共同事業であった。商品コンセプトとして、武田二十四将になぞらえて24種類の創作菓子を作る必要性から、多くの組合員の参加が求められたが、実際には17組合員の参加に止まり、複数の組合員が複数の商品を作ることになった。組合員の経営体力や意気込みなどにおいて格差があったためである。

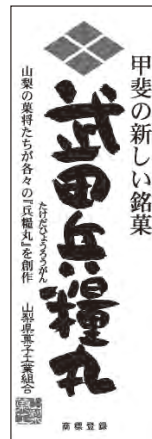
また、現状では組合員の規模の違いによる生産・在庫および物流面からの制約により、常設の販売拠点の新規開拓ができずにいる。この課題を解決していくためには、代表理事のリーダーシップによる一層の協同意識が求められる。



信玄公祭りでの正式販売



完成披露会



甲斐の新しい銘菓

### 山梨県菓子工業組合

住所：〒400-0828  
山梨県甲府市青葉町12-20  
設立：昭和36年7月  
出資金：1,300千円  
電話：055-237-0091  
URL：－  
業種：菓子製造販売業  
組合員：139人  
組合専従者：－